

はじめに

平成22年の第65回国民体育大会（「ゆめ半島千葉国体」）で、本県は史上初の天皇杯・皇后杯を獲得し、完全優勝を達成しました。その成果を引き継ぐべく、第11次「千葉県体育・スポーツ推進計画」では、「スポーツ立県ちば」を掲げ、「するスポーツ」として、「千葉県競技力向上推進本部事業」を継続・発展させ、国民体育大会連続入賞を成し遂げるとともに、スポーツの振興と千葉県の魅力発信をコンセプトとした「ちばアクアラインマラソン」を3回開催しました。大会では、世界中から1万6千人を超えるランナーがアクアラインの風に乗って疾走し、「ささえるスポーツ」として、応援やボランティアが大会を大いに盛り上げました。また「みるスポーツ」として、県内のトップ・プロスポーツチームと連携した「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」「ちば夢チャレンジかなえ隊派遣事業」では、小・中学生に卓越したパフォーマンスを間近で見たり体験したりする機会が設けられました。まさに、本県の持つ様々なポテンシャルを活用した事業が進められてきました。

さらに「2016リオデジャネイロオリンピック」において、本県ゆかりの選手が41名出場し、体操男子団体で加藤選手と田中選手が、柔道90Kg級でベイカー選手が金メダルを獲得したのははじめ、7競技で18名が入賞し、県民に元気と勇気を届けました。さらに「パラリンピック」では、18名が出場し、ボッチャのチーム戦に出場した廣瀬選手と、自転車のロードタイムトライアルにパイロットとして出場した田中選手が銀メダルを獲得したほか、8名が銅メダルに輝くなど、7競技で13名が入賞するすばらしい活躍をしました。

このように「するスポーツ・みるスポーツ・ささえるスポーツ」が拡がりを見せる中、新たな「千葉県体育・スポーツ推進計画」では、前計画の成果と課題を踏まえるとともに、約半世紀ぶりとなる東京オリンピック・パラリンピックが、本県内でも開催されるこの5年間で、スポーツの力が最大限に発揮される絶好の機会ととらえ、「全ての県民が多面にわたるスポーツの価値を基盤にしながら、健康で活力ある生活を送り、互いに支え合うスポーツ立県ちば」の一層の推進を目指します。

そして、子どもたちが誇れる郷土を「オール千葉」体制で作り上げるために、千葉県スポーツ推進審議会、千葉県議会をはじめ、全県の皆様からのパブリックコメント、各教育事務所で開催された中高生との交流会、庁内関係各部署各課で構成されたワーキンググループ会議等で広く御意見をいただくとともに、国の新たな第2期スポーツ基本計画を参酌しながら、この度、平成29年度から平成33年度にわたる千葉ならではの第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」を策定しました。

今後とも本県の体育・スポーツの推進に、より一層の御理解と御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

平成29年4月

千葉県教育委員会